令和４年度　校内研修全体計画

１　研究主題

確かな学力を育み、主体的な学びを実現する学習指導の工夫

～自ら学び表現できる算数科複式授業の工夫を通して～

２　研究内容

1. 複式授業の充実を図る。
2. 基礎的基本的な学力の定着
3. 小中連携

３．取組の具体的内容

（１）複式授業の充実を図るために

・算数科学習指導に研究の主軸をおき、学習過程の定着を図る。

　・学習過程を「つかむ」「調べる」「深める」「広げる」とし、全学年で共通理解する。

・「深める」過程での学び合いが充実するように、ガイドマニュアルの見直しを図る。

・端末は、必要に応じて活用する。

　・夏休み：複式基礎研究とワークショップ等による情報交換

　・２学期：公開授業

　※算数科の学習で、児童の実態に合わせた内容を考える。

　・冬休み又は１月中：実践報告

（２）基礎的基本的な学力の定着に向けて

　①ホップタイムの取組の見直し

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| １学期 | 基礎 | 基礎 | 委員会集会等 |  | 基礎 |
| ２学期 | 基礎 | 基礎 | 基礎 |
| ３学期 | 発展 | 発展 | 発展 |

　　※ミライシード等を活用する。

②問題プリントの整理・作成

（３）小中連携に向けて

　　　　①お互いの公開授業の参観

　　　　②夏季休業中の研修への参加